

電 氣 事 業

令和3(2021)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名 電気事業

(単位:百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

(1) 収益的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	料金収入	1,897	1,897	1,953	56	・料金収入は、FIT 発電所の販売増 等により増 非FIT分:9百万円増 FIT分:29百万円増 とちぎふるさと電気: 18百万円増
	その他収入	55	55	51	▲ 4	
	計	1,952	1,952	2,004	52	
支 出	人件費	458	458	399	▲ 59	・人件費は、職員 構成の若年化によ り減
	減価償却費	490	490	500	10	
	修繕費	282	282	180	▲ 102	・修繕費は修繕計 画の見直し等によ り減
	その他支出	1,064	1,064	1,061	▲ 3	
	計	2,294	2,294	2,140	▲ 154	
経 常 損 益		▲ 342	▲ 342	▲ 136	206	

剰余金残高	774		1,258	484	
-------	-----	--	-------	-----	--

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

(2) 資本的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	借入金	1,943	1,943	296	▲ 1,647	・借入金は、工事 の進捗状況に合わ せて調整したため 減
	その他収入	1	1	9	8	
	計	1,944	1,944	305	▲ 1,639	
支 出	建設改良費	2,444	2,444	603	▲ 1,841	・建設改良費は、 工事の進捗状況に 合わせて調整した ため減
	借入金償還金	175	175	175	0	
	その他支出	37	37	29	▲ 8	
	計	2,656	2,656	807	▲ 1,849	
差 引		▲ 712	▲ 712	▲ 502	210	

借入金残高	3,847		1,945	▲ 1,902	
-------	-------	--	-------	---------	--

経営指標による経営状況

	収益性			安全性		老朽化の状況			
	経営資本 営業利益率	営業収支比率	経常収支比率	流動比率	自己資本 構成比率	有形固定資産 減価償却率			
	・経営資本でどれだけの営業利益を上げたかで、高いほど良好	・営業活動の能力で、高いほど良好	・経常的な企業活動の効率性で、高いほど良好	・短期的な支払能力で、高いほど経営基盤は安定	・総資本に対する自己資本の割合で、高いほど経営基盤は安定	・償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標			
	(単位:%)								
平成29年度決算値	1.69	113.75	112.42	787.90	84.20	64.66			
平成30年度決算値	2.02	118.03	116.73	793.68	80.85	65.32			
令和元年度決算値	2.15	119.22	118.78	851.44	80.30	66.14			
令和2年度決算値	2.38	119.58	118.51	862.68	80.90	62.56			
令和3年度決算値	▲ 0.55	95.60	93.67	917.90	79.52	63.46			
全国平均(令和2年度決算値)	-	133.80	134.60	666.30	80.60	62.00			
説明	<p>風見発電所の全面改修工事による発電停止のため、十分な料金収入を確保できず営業収支が赤字となった。そのため、事業の収益性を示す経営資本営業利益率、営業収支比率、経常収支比率の3指標は低い値となったが、当該工事は収益増加を目的とした計画的なものであり、工事終了後には固定価格買取制度(FIT)の適用を受けた料金収入を確保できるため、長期的に見れば経営状況は改善する見込みである。</p> <p>また、経営の安全性を示す自己資本構成比率は全国平均並みで、流動比率は全国平均を大幅に上回っており、経営基盤は安定しているといえる。</p> <p>一方、有形固定資産減価償却率では償却資産の減価償却が6割を超えて進んでいるが、これは日頃の保守点検によって各資産の劣化状況を把握し、更新計画に反映させながら順次更新に取り組んでいるところであり、特に問題はない。</p>								

※ 営業収支比率: 単年度営業収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 経常収支比率: 単年度収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 流動比率: 短期的に支払うべき債務を支払える現金等がある状況を示す100%以上が必要

電気事業 目標の達成状況

1 財務面に係る評価

目標の達成状況

	【目標】 財務基盤を強化するため、5か年で合計10億円以上の経常利益を確保します。
決算累計値	▲136百万円
評価	C
評価に係る説明	風見発電所全面改修工事の遅延により運転再開が遅れ、目標達成は厳しい見込みのためC評価としたが、6か年目のR8年度には合計10億円以上の経常利益を確保する見込み。 なお、R3年度決算では、FIT適用発電所の販売電力量の増や修繕費の減等により、赤字幅が大幅に縮小した。

2 事業面に係る評価

(1) 目標の達成状況

	計画業務量 (年間供給電力量)	各発電所の事故・ 故障等停止時間	一般会計への繰出額	
目標値	R3年度 183,000MWh	R3年度 各発電所72時間以内	5か年で累計350百万円 計画累計値 70百万円	
実績(累計)値	R3年度 182,303MWh	R3年度 102時間(1発電所のみ)	累計 82百万円	
評価	B	B	A	
評価に係る説明	取水ダム周辺の年間降水量が少なく(3ダム計平年比94%)、目標値をわずかに下回ったため(目標比99.6%)、B評価とした。	稼働中11発電所のうち1発電所(大下沢発電所)が目標を下回ったため、B評価とした。	とちぎふるさと電気の販売が好調で繰出額が増えたため、A評価とした。	

風見発電所全面改修事業の進捗と改修後の経常損益について

R4 (2022). 8. 29
企業局電気課

- ◇ 風見発電所全面改修事業は、工事の遅延により運転の再開が令和6(2024)年3月となる見込み
- ◇ 工事の遅延に伴い令和5(2023)年度は料金収入が減少し電気事業の経常損益は赤字となるが、運転再開後20年間の料金収入(固定価格買取制度(FIT)適用)に変更はない

1 改修事業の進捗

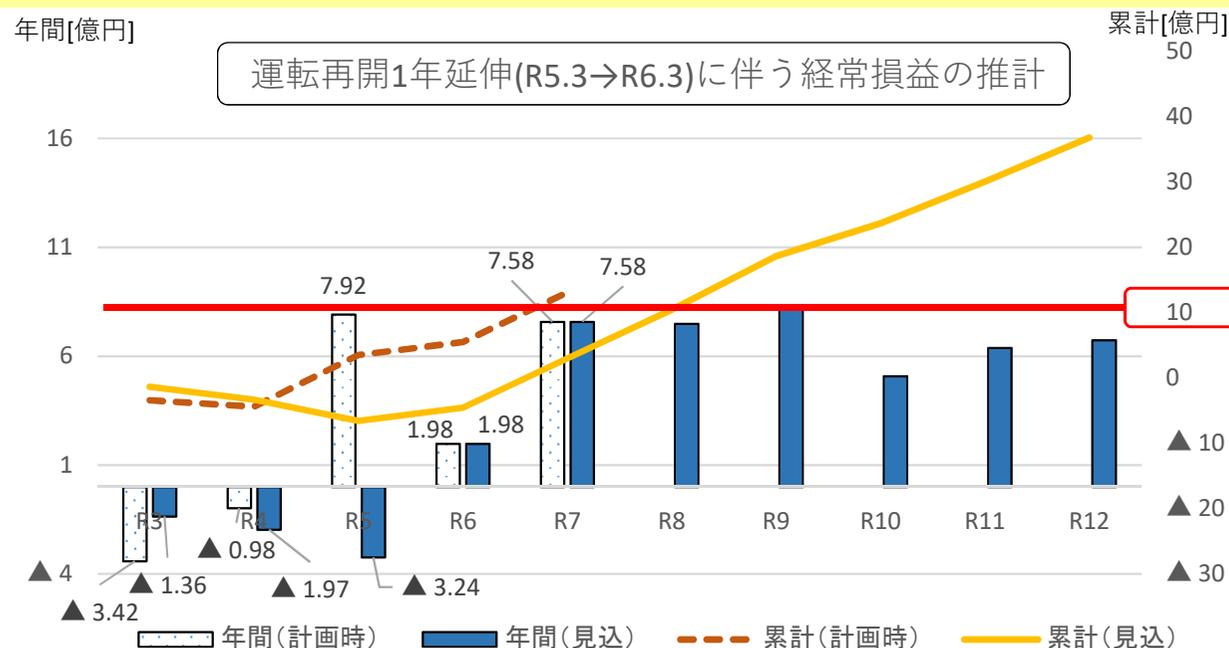
- 風見発電所(昭和39(1964)年4月運転開始)は設備の老朽化が著しいことから、固定価格買取制度(FIT)の適用を受け平成28(2016)年度から全面改修事業に着手した。
- 令和2(2020)年10月から発電を停止して現地工事に着手したが、撤去工事や建屋基礎部の配筋作業・コンクリート打設に時間を要したため工程を再度見直した結果、運転再開は令和6(2024)年3月となる見込み。

全面改修事業の概要

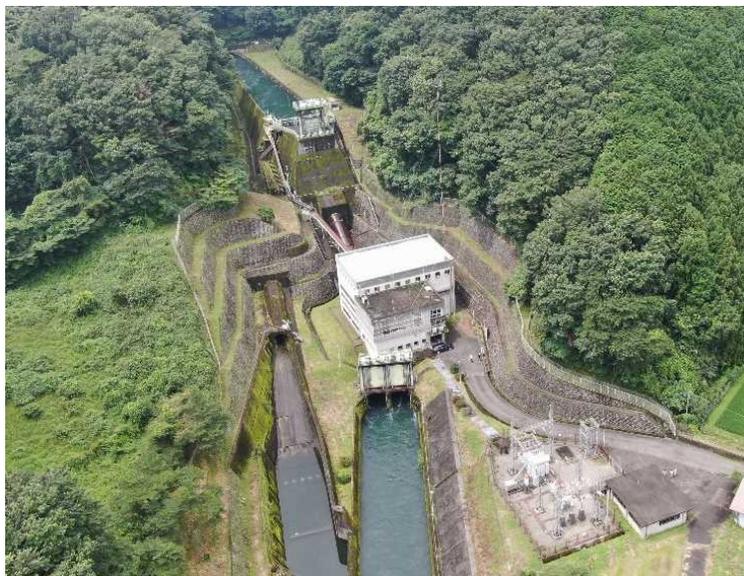
- 【事業箇所】 塩谷郡塩谷町風見山田614
- 【事業期間】 H28(2016)年度～R5(2023)年度
- 【総事業費】 約57億円(うち工事費約54億円)
- 【事業効果】 (税抜)
 - ・料金単価 9.76円/kWh→24.00円/kWh
 - ・年間料金収入 約5.6億円→約13.7億円

2 改修後の経常損益

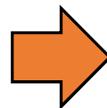
- 令和5(2023)年度の電気事業の経常損益は、赤字額が約3.2億円となる見込み。
- 令和6(2024)年度以降は損益が黒字となり、令和3(2021)年度から令和5(2023)の累積欠損金は令和6(2024)年度と令和7(2025)年度の純利益を充てることで解消できる見込み。
- 令和3(2021)年度からの6か年(令和8年度)で合計10億円以上の経常利益を見込む。
- 運転再開後20年間の料金収入(FIT適用、約273億円)は変更なし。



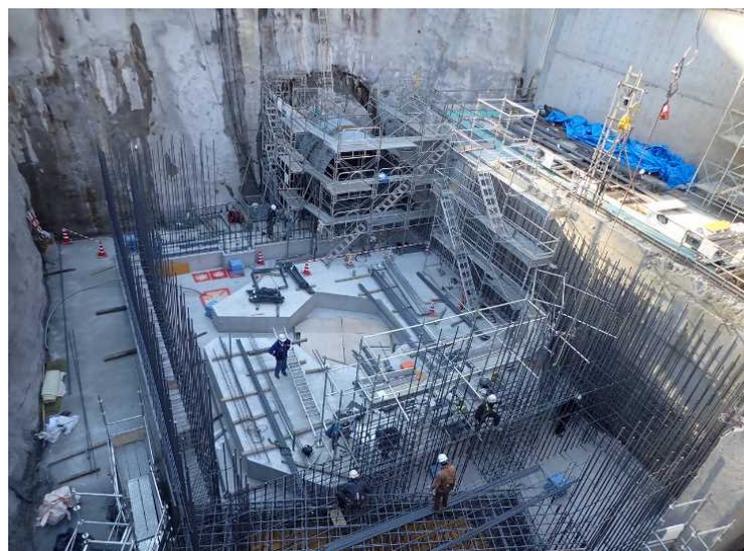
全面改修の状況



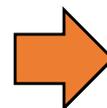
令和2(2020)年4月 更新前発電所全景



令和3(2021)年9月 建屋基礎解体完了



令和4(2022)年2月 ドラフト周りコンクリート巻き立て



令和4(2022)年8月 建屋鉄骨組立て

(2) 取組実績等

経営方針	令和3(2021)年度の実績	令和4(2022)年度の実績
ハード・ソフト両面の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○施設等の計画的な更新や耐震化 <ul style="list-style-type: none"> ▶川治第一発電所取水口ゲート巻揚装置更新(R2~R3) ▶足尾発電所水圧鉄管等詳細耐震性能照査 ▶板室発電所給排水バルブ更新 ▶木の俣発電所発電機固定子更新(R2~R4) ○業務継続体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶感染症対策の徹底、テレワーク・Web会議の推進 ○実践的な災害対応訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶ダムを対象とした洪水対応演習(5/12実施) ▶事故故障発生時の対応訓練(11/30,12/3実施) ▶発電所、ダムの油流出対応訓練(8/31,1/31実施) ▶地震発生時の対応訓練(8/31,3/17実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の計画的な更新や耐震化 <ul style="list-style-type: none"> ▶川治第一発電所屋外機器更新(R4~R5) ▶足尾発電所水圧鉄管等耐震補強詳細設計 ▶板室発電所屋外照明設備更新 ▶木の俣発電所発電機固定子更新(R2~R4) ○業務継続体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶感染症対策の徹底、テレワーク・Web会議の推進 ○実践的な災害対応訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶ダムを対象とした洪水対応演習 ▶事故故障発生時の対応訓練 ▶発電所、ダムの油流出対応訓練 ▶地震発生時の対応訓練
収益の確保と経費削減による財務基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な設備点検による電力の安定供給 <ul style="list-style-type: none"> ▶電気工作物保安規程に基づく設備の点検や測定試験 ○既設発電所全面改修(FIT適用)による収益力向上 <ul style="list-style-type: none"> 【風見発電所全面改修】 <ul style="list-style-type: none"> ▶主要機器の製作、水圧鉄管の更新 ▶撤去工事、建屋基礎部の配筋・コンクリート打設 ▶工事延伸により令和6(2024)年3月運転再開見込み 【深山発電所全面改修】 <ul style="list-style-type: none"> ▶主要機器製作据付等工事を発注 ▶水力設備実施設計業務委託を発注 ○供給電力量の増加に向けた改修方法の調査・検討 <ul style="list-style-type: none"> ▶業務委託により既設発電所の増電力量可能性を調査 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な設備点検による電力の安定供給 <ul style="list-style-type: none"> ▶電気工作物保安規程に基づく設備の点検や測定試験 ○既設発電所全面改修(FIT適用)による収益力向上 <ul style="list-style-type: none"> 【風見発電所全面改修】 <ul style="list-style-type: none"> ▶発電所建屋の建築、除じん機の据付等 【深山発電所全面改修】 <ul style="list-style-type: none"> ▶主要機器の設計製作、水力設備実施設計 ○供給電力量の増加に向けた調査検討 <ul style="list-style-type: none"> ▶板室発電所の供給電力量増加に向けた検討

経営方針	令和3(2021)年度の実績	令和4(2022)年度の実績予定
組織力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ▶外部研修会・講習会への参加 ▶内部研修の強化、OJTによる技術継承 ○保安の高度化や業務の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ▶業務委託(R3～R4)によりタブレット端末を使用する点検システムを構築中 ▶ドローンを購入し高所等の点検に活用 ○業務に必要な人材確保 <ul style="list-style-type: none"> ▶電気事業における業務計画の着実な推進に向け、当該計画の業務量に応じた電気職・機械職を確保するため、大卒程度のほか、令和2(2020)年度に再開した高卒程度の採用を継続 ▶必要となる人員が確実に確保できるよう、次の取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・工業系高校訪問による電気事業の魅力等のPR (高校訪問 6月8校、1月5校、3月1校) ・技術職現場見学会の実施(9/1 Web実施) ・電気職PR動画を作成しYouTubeでも公開 	<ul style="list-style-type: none"> ○人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ▶外部研修会・講習会への参加 ▶内部研修の強化、OJTによる技術継承 ○保安の高度化や業務の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ▶タブレット端末を使用する点検システムの本格運用開始 ○業務に必要な人材確保 <ul style="list-style-type: none"> ▶電気職・機械職を確実に確保できるよう、大卒程度及び高卒程度の採用に加え、R5(2023)年度から社会人を対象とした採用等の実施に向けた協議の推進 ▶採用の周知を図るため、以下の取組を継続 <ul style="list-style-type: none"> ・大学や工業系高校訪問による電気事業の魅力等のPR ・技術職現場見学会の実施 ・工業系高等学校のインターンシップ受入れ ・電気職PR動画のYouTube公開

経営方針	令和3(2021)年度の実績	令和4(2022)年度の実績予定
事業利益等を活用した 地域貢献の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ○とちぎふるさと電気による環境保全事業の支援 <ul style="list-style-type: none"> ▶1社2事業所と新たに契約、合計13社17事業所 ▶日光地域のEV急速充電器整備や那須・塩原地域のEバイク導入などを支援 ○地域振興積立金の活用によるSDGs関連事業の支援 <ul style="list-style-type: none"> ▶デジタルハブ事業やとちぎビジネスAIセンター運営などを支援 ○ダムカードや発電所カードの配布による水力発電所の観光資源としての活用 <ul style="list-style-type: none"> ▶ダムカード配布 2,261枚 ▶発電所カード配布 18,318枚 ○環境イベントへの参加 <ul style="list-style-type: none"> ▶植樹イベントへの苗木の寄付及びボランティア参加 ▶エコテックとちぎへの出展 	<ul style="list-style-type: none"> ○とちぎふるさと電気による環境保全事業の支援 ○地域振興積立金の活用によるSDGs関連事業の支援 ○ダムカードや発電所カードの配布、現地見学会による水力発電所の観光資源としての活用 ○環境イベントへの参加
SDGs 達成への貢献 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○水力発電による「クリーンエネルギーの供給」やとちぎふるさと電気の販売を通じた事業者の「温室効果ガス削減」への貢献 ○供給電量最大化による「脱炭素社会の実現」への貢献 ○洪水被害の防止・軽減を目的とした事前放流に伴う「治水対策」への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ○水力発電による「クリーンエネルギーの供給」やとちぎふるさと電気の販売を通じた事業者の「温室効果ガス削減」への貢献 ○供給電量最大化による「脱炭素社会の実現」への貢献 ○洪水被害の防止・軽減を目的とした事前放流に伴う「治水対策」への貢献

3 総合評価

自己評価等						
1 財務面に係る評価 目標の達成状況 ・風見発電所全面改修工事の遅延により運転再開が遅れ、目標達成は厳しい見込み。		(2)事業の取組実績等 ・深山発電所のFIT適用に向けた全面改修事業は、当初計画どおり工事の発注を行った。 ・とちぎふるさと電気は、カーボンニュートラル促進による企業ニーズの高まりもあり、新たに1社2事業所と契約を締結し、販売電力量も着実に増加した。			評価	
2 事業面に係る評価 (1)目標の達成状況 ・年間供給電力量は、取水ダム周辺の年間降水量が少なかったことにより計画値を若干下回ったものの、概ね計画値どおりだった。					B	
評価委員会の評価等						
・財務面について、5か年の目標達成が厳しい見込みとなったが、令和3年度において赤字幅を大幅に縮小したことは評価できる。					評価	
・事業面について、一般会計への繰出額は目標を達成できており、計画業務量及び停止時間についても概ね目標を達成できている。					B	
・令和3年度の取組実績として、施設等の更新や耐震化が計画どおり進められているほか、とちぎふるさと電気の新規契約締結等、地域貢献の拡充やSDGs達成への貢献が図られている。						
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	
自己評価	B					
評価委員会の評価	B					

今後の取組課題・改善点等

- ・長期化する原油価格等高騰の影響下においても、電力を安定供給できる体制を確保する。
- ・風見発電所及び深山発電所の全面改修を着実に推進するなど、長期的な視点で施設を改修し、安定した料金収入を確保する。
- ・電力市場等の変化に的確に対応するなど、経営基盤の一層の強化に取り組む。
- ・持続可能な社会の実現に向けて、水力発電事業を通じたSDGs達成に貢献する。

○ 収支の状況

(1) 収益的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	料 金 収 入	計 画 額		1,897	1,951	3,202	3,156	3,381
		当 初 予 算 額		1,897				
		決 算 額	2,269	1,953				
	そ の 他 収 入	計 画 額		55	55	55	55	55
		当 初 予 算 額		55				
		決 算 額	65	51				
支 出	人 件 費	計 画 額		458	419	484	495	495
		当 初 予 算 額		458				
		決 算 額	412	399				
	減 価 償 却 費	計 画 額		490	539	698	771	840
		当 初 予 算 額		490				
		決 算 額	484	500				
	修 繕 費	計 画 額		282	326	412	600	376
		当 初 予 算 額		282				
		決 算 額	190	180				
	そ の 他 支 出	計 画 額		1,064	820	871	1,147	967
		当 初 予 算 額		1,064				
		決 算 額	883	1,061				
経 常 損 益	計 画 額		▲ 342	▲ 98	792	198	758	
	当 初 予 算 額		▲ 342					
	決 算 額	365	▲ 136					
剰 余 金 残 高			1,377	1,258				

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

(2) 資本的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	借 入 金	計 画 額		1,943	1,993	750	0	0
		当 初 予 算 額		1,943				
		決 算 額	131	296				
	そ の 他 収 入	計 画 額		1	1	1	1	1
		当 初 予 算 額		1				
		決 算 額	7	9				
支 出	建 設 改 良 費	計 画 額		2,444	2,205	2,119	1,461	705
		当 初 予 算 額		2,444				
		決 算 額	637	603				
	借 入 金 償 還 金	計 画 額		175	109	212	153	118
		当 初 予 算 額		175				
		決 算 額	184	175				
	そ の 他 支 出	計 画 額		37	42	42	42	42
		当 初 予 算 額		37				
		決 算 額	11	29				
差 引	計 画 額		▲ 712	▲ 362	▲ 1,622	▲ 1,655	▲ 864	
	当 初 予 算 額		▲ 712					
	決 算 額	▲ 694	▲ 502					
借 入 金 残 高			1,823	1,945				

○ 経営指標による経営状況

(単位:%)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
経営資本営業利益率	決算値	2.38	▲ 0.55				
営業収支比率	決算値	119.58	95.60				
経常収支比率	決算値	118.51	93.67				
流動比率	決算値	862.68	917.90				
自己資本構成比率	決算値	80.90	79.52				
有形固定資産減価償却率	決算値	62.56	63.46				

○ 財務面に係る目標の達成状況

(単位:百万円)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
5か年で合計10億円以上の 経常利益を確保	計画累計値		▲ 342	▲ 440	352	550	1,308
	決算累計値		▲ 136	(▲ 333)	(▲ 657)	(▲ 459)	(299)
	評価		C				

※ 括弧書きは現時点における見込値

○ 事業面に係る目標の達成状況

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
計画業務量 (年間供給電力量)	目標値		183,000MWh	186,000MWh	227,000MWh	223,000MWh	245,000MWh
	累計値	219,181MWh	182,303MWh				
	評価		B				
各発電所の事故・ 故障等停止時間	目標値		72時間	72時間	72時間	72時間	72時間
	実績値	5時間	102時間				
	評価		B				
一般会計への繰出額 5か年で累計350百万円	計画累計値		70百万円	140百万円	210百万円	280百万円	350百万円
	実績累計値	41百万円	82百万円				
	評価		A				